

営業収益・・・ショッピングクレジット・カード・ペイメントの各事業の取扱高を順調に伸ばし、765億円(前期比3.0%増)。
 営業費用・・・ペイメント事業の原価性費用の増加や新システム稼働に伴うシステム費用の増加の他、貸倒引当金繰入額および利息返還損失引当金繰入額の増加などにより、737億円(同8.0%増)。
 営業利益・・・27億円(同53.8%減)、経常利益・・・28億円(同53.7%減)、親会社株主に帰属する当期純利益・・・24億円(同65.1%減)。

1. 要約損益計算書

(単位:億円)		FY2017			FY2018			FY2018業績予想*		FY2019 業績予想
				前期比			前期比	通期	進捗率	
1	営業収益	743	765	3.0%	765	100.1%			800	
2	営業費用	683	737	8.0%						
3	販売費及び一般管理費	655	709	8.2%						
4	人件費・物件費等	503	521	3.5%						
5	クレジットコスト	151	188	24.0%						
6	貸倒引当金繰入額	121	153	25.8%						
7	利息返還損失引当金繰入額	30	35	16.7%						
8	金融費用	27	28	3.0%						
9	営業利益	60	27	-53.8%	118	23.6%			87	
10	経常利益	61	28	-53.7%	118	24.0%			87	
11	親会社株主に帰属する当期純利益	71	24	-65.1%	100	24.8%			70	

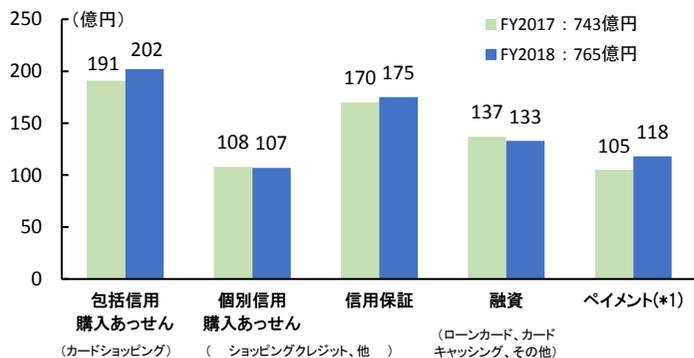
*2018年5月11日公表

グループの融合により革新的金融サービスを提供し、リーンなオペレーションと卓越した生産性・効率性を実現する

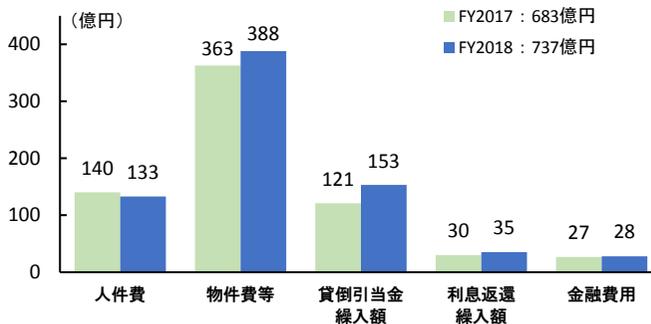
- 【ショッピングクレジット】
 - ・同じ新生銀行グループの昭和リースとの協業により、ベンダーリース、個人向けオートリースの営業活動を強化。
- 【カード】
 - ・TSUTAYAフランチャイズ店との連携強化や、その他提携先との提携カードの獲得強化。
 - ・アプラスカード会員様向けスマートフォン用無料公式アプリ「アプラスカードアプリ」の利用促進。
- 【ローン(ハウジング含む)】
 - ・「リバースモーゲージ型住宅ローン」の取り扱いを開始。
 - ・投資用マンションローンの厳格な与信運営による良質債権の積上げ。
- 【ペイメント】
 - ・中国人向けモバイル決済サービスと「LINE Pay」「PayPay」の国内向けモバイル決済サービスの複数サービスの利用加盟店への同時提供を開始。利用店舗は1,811社、14,336店まで拡大(2019年3月末日現在)。
 - ・旅行会社大手の株式会社JTBが運営する「海外専用プリペイドカード MoneyT Global」事業を承継。

2. 部門別営業収益

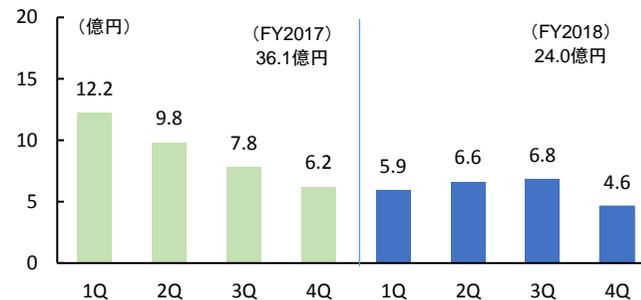
※グラフには金融・その他収益を含まない



3. 営業費用内訳

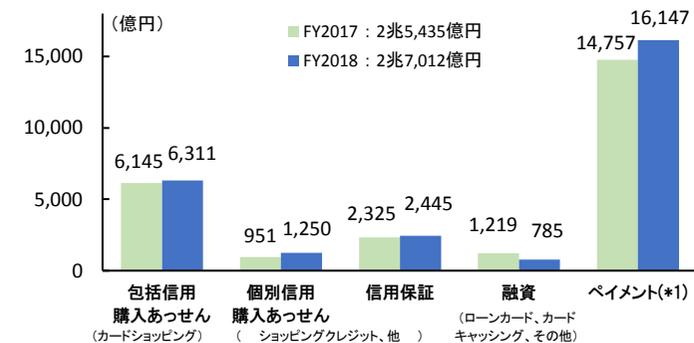


4. 利息返還実績四半期推移



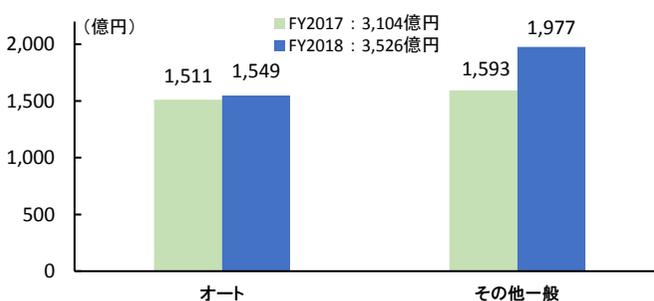
5. 部門別取扱高

※グラフにはリース・その他取扱高を含まない

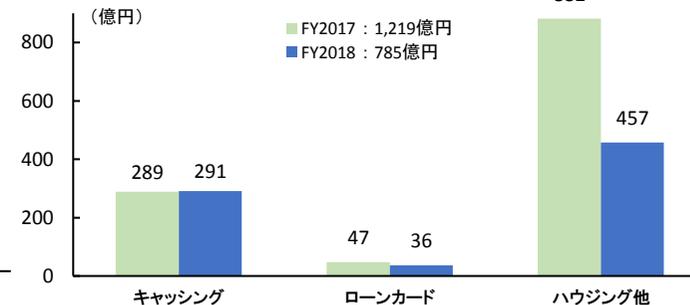


6. ショッピングクレジット取扱高内訳

※「個別信用購入あつせん」と「信用保証」の一部



7. 融資取扱高内訳



(*1) ペイメント・・・集金代行(コンビニ、口振)、家賃保証、プリペイドカード、コード決済 など